

---

## 2. カザルスホール

---

ヒアリング記録

1997/12/12

榎お茶の水コミュニティハウス アウフタクト | チーフプロデューサー 児玉 真

---

### カザルスホール概要

- 1987年10月開館。東京都千代田区神田駿河台に立地する室内楽のクラシックを対象とした座席数 511 席の中規模ホール。
  - ホール管理運営は、主婦の友社グループの榎お茶の水スクエアが行っており、公演の企画は、同社内部組織であるアウフタクト(カザルスホール企画室)が行っている。
  - 96年公演数約 320 本、うち、自主公演数 60 本
- 

### 1. カザルスホールにおけるホール間ネットワーク活動

- 当ホールの運営方針として、収益性を追求するのではなく、メセナの発想から室内楽を運動として全国に広げるという役割を担っていると考えているため、開館当初より、全国ホールとのネットワークを意識していた。そのため、開館当初は余裕がなく実現していなかったが、降試行錯誤の結果、3年目以降に他ホールとのネットワークが機能し始めた。
- 当初は、公演経費を分担しコスト削減する目的で、当ホールにて企画した公演を他ホールへ斡旋するネットワーク公演の形態をとっていた。この場合、複数ホールでの公演を想定し、最初に予想される単価を提示し、各ホールでの検討が行いやすいよう配慮した。ネットワークの成就によってコストを計算しなおすことで、20万円程度のコストダウンが図られた公演もある。
- その後 90年には、メイシアター(吹田市)荒起氏の企画により大阪周辺ホールがネットワークを組んで実施した「ベートーヴェン・チクルス」をヒントに、「ジョン・リル ピアノリサイタル」を東京郊外のIMAホール(練馬区)、川口リリア音楽ホール(川口市)と組んで開催した。この公演から、当ホールでの企画公演を単に他ホールへ斡旋するだけでなく、共同開催ホールであるプログラムの共同検討や公演日の調整を行う共同企画画面へも踏み込んだものとした。しかし、結果として、アーティストの知名度が十分でなかったことや、ネットワークを組んで公演を行うことに対する各ホールのメリットが明確にならなかった等の理由により成功とはいえない結果となり、その後、この形の共同公演は棚上げになってしまった。
- この時、理想としては、商業施設が捉える商圈の発想で音楽聴衆をとらえ、都心部(太陽)の周りに位置し、自都市の周辺にも衛星都市を有する立川市・所沢市・大宮市・津田沼市等の惑星都市のホールをネットワーク化したいと考えていた。しかし、各都市に適当なホールが揃っていないこと等から実現しなかった。
- 同様の発想で、川口リリア音楽ホール等の東京周辺都市同志でネットワークを組んで行っている「音楽祭」があるが、これも東京都心部へ観客が吸引されてしまう危機感からの発想であろう。

- しかし、最近、再びこれまでのネットワーク公演を進化させ、ネットワークを組むホールの所在する地域へのメリットを考慮した企画を積極的に行うようになった。95年には、全国音楽ホールネットワーク協議会や地域創造の協力を得て、「マイクロシュ・ペレーニ・チェロリサイタル・日本ツアー1995」を全国8ホールで実施した。この時には、当ホールから公演を幹旋されたのではなく、共同して公演を制作した意識を各ホール担当者に持ってもらうため、一つのちらしで各ホールでの公演内容が全て分かる公演日一覧やホールからのコメントを盛り込んだ全ホール共通のちらしを共同制作した。
- 続く96年に全国15ホールと組んで行った「カルミナ・クアルテット 日本ツアー1996」では、当ホールからの提案により、公演以外にも各ホール独自の企画を追加してもらうことで、各地域の独自性も発揮できる公演スタイルとした。篠山町では、当地での音楽祭開催に際しスイス姉妹都市から受けるコメントのメッセージャー役をアーティストに行ってもらったり、大牟田ではチケット保有者を対象としたレクチャーを開催、新潟ではハーサルの公開等が行われ、各地の独自性が発揮された。
- また、同じ96年から、各ホールの地域性や保有する悩みが異なる中であって共通の課題となっている観客のクラシックへの理解の深化とそれによる観客の拡大を目的とした、「仲道郁代の音楽学校」を全国のホールとネットワークを組んで開催している。96年は6ホール(大野城、瀬戸田、豊中、浜松、七ヶ浜、カザルス)での開催であったが、97年には10ホールに拡大している。ここでも、各ホールの担当者を巻き込んで準備作業を行うことで、スタッフ参加型のネットワーク公演を目指している。
- この音楽ファン層の拡大については、当ホールでの企画以外にも、現在日本音楽マネジメント協会が、全国ベースでの「音楽の日」創設運動を積極的に展開しているが、残念ながらまだ業界内レベルの盛り上がりでしかない。
- 一方、ホールがネットワークを組み公演回数を増やししながら、一つのアーティストを育てる試みとして、「ハレー・ストリング・クアルテット」の公演を豊中市立アクア文化ホールと提携し7年連続で行ってきている。
- ネットワーク公演の提携ホールの選定は、担当者には大変であるが、実際に地方のホールを訪問し、担当者の話を聞いた上で行っている。これは、公立ホールの担当者の熱意・創意工夫の力で企画の発展性が大きく変わってくるためである。そのため、原則として、ネットワークを組んだホール間での会則は設けず(組織化せず)、担当者同志の人的ネットワークを優先した形をとっている。
- これまで行ってきたネットワーク公演を通して、ネットワークを組むホールが広域に渡る場合の調整役となる中心ホールの業務量が膨大となる課題を感じている。「カルミナ・クアルテット 日本ツアー1996」のケースでは、当ホールが担当したアーティストとのコンサート以外の追加サービスについての交渉業務は非常に大変であった。
- 今後当ホールとしては、海外、特にロンドン等欧州のホールとのネットワークを構築していきたいと考えている。

## 2. 公立ホールのネットワーク活動実施に対する見解

- 一般的にホールで行う招聘公演は、音楽事務所からの購入が基本である。しかし、この方法には、海外アーティスト公演時の共催ホール選択の権利が音楽事務所側にあり、

同一エリア内他ホールで同一アーティストの公演が行われる可能性があることや、ホールのオリジナリティを發揮しにくいという課題がある。

- ホールが直接海外アーティストと交渉し招聘しようとした場合にも、単独ホールで呼んでは採算が合いにくい他、アーティストから国内での複数公演を要求されるため、企画ホールが音楽事務所的な業務を行う必要が生じてしまうことも課題である。
- 現在行っているような全国エリアでのネットワーク公演では、コスト削減部分が少なく、また準備段階で担当者全員が集まらない課題もある。
- 地方のホールでは、まだ演目の具体的な希望や主張は非常に少なく、何かやればよいといった発想レベルの段階にある。そのため、地方ホール同志では企画力がまだ十分ではないため、現状では、東京のホールを中心とし、うまく活用しながら、複数の地方ホールがネットワークを組む形態が自然ではないかと考えている。
- 公立ホールを対象としたネットワーク組織への当ホールの参画事例として、「全国音楽ホールネットワーク協議会」があるが、これは当ホールの企画力を求められ参画したものである。一般的には、民間ホールが公立ホールとネットワークに参画する場合には、公立ホールからの要請を受け、ネットワークをまとめる役割を担うケースが中心であろう。その他、新聞社等のマスコミが参加しているケースでは、マスコミの宣伝力、情報力に期待しているとみられる。しかし、民間ホールが公立ホールのネットワークに加わる際に、一部文化庁や地域創造からの助成はあるものの、助成のメリットが小さい点が課題であろう。
- 民間ホールとしてネットワークを固定化(同一ホールとの継続的な企画のネットワーク化)することは、アーティストの日程に合せた公演日の調整が困難となる等、企画の自由度を低下させるリスクがあるため難しいと考えている。そのため、担当者ベースで密に連絡を取り合い、課題等を話し合う中でアーティストを紹介したり共同企画へ発展させていく形態が望ましいと思う。仮に組織化した場合には、中心となるホールのリーダーシップが要求されよう。
- また、今後の公立ホールにおいては、地元といかにしてつきあい、住民とのネットワークをいかに構築していくかが、共通かつ重要な課題となろう。

以上

# ミクローシュ・ペレーニ チェロリサイタル 日本ツアー 1995

後援：ハンガリー大使館  
企画制作：カザルスホール企画室・アウフタクト

ミクローシュ・ペレーニ (チェロ)  
岩崎 淑 (ピアノ)

10月19日 (木) 19時開演  
旭川市大雪クリスタルホール音楽堂

主催：ミクローシュ・ペレーニ チェロリサイタル実行委員会  
共催：大雪クリスタルホール  
後援：旭川市、旭川市教育委員会、北海道新聞社旭川支社、北海道タイムス旭川本社、NHK旭川放送局  
協力：旭川グランドホテル

プログラムB

10月20日 (金) 19時開演  
アトリオン音楽ホール

(宝くじ助成事業)  
主催：秋田県  
後援：(財)地域創造、全国音楽ホールネットワーク協議会

プログラムA

10月22日 (日) 14時開演  
カザルスホール

主催：カザルスホール  
協賛：カザルスホール倶楽部  
後援：全国音楽ホールネットワーク協議会、ニッポン放送、主婦の友社

プログラムC

10月23日 (月) 19時開演  
富山県高岡文化ホール

(宝くじ助成事業)  
主催：(財)富山県文化振興財団富山県高岡文化ホール、富山県高岡文化ホール音楽友の会  
後援：(財)地域創造、全国音楽ホールネットワーク協議会、富山県教育委員会

プログラムA

10月25日 (水) 19時開演  
福崎町エルデホール

(エルデホール自主事業/エルデ室内楽コンサート)  
主催：福崎町エルデホール企画運営委員会、福崎町、福崎町教育委員会  
後援：全国音楽ホールネットワーク協議会

プログラムB

10月26日 (木) 19時開演  
倉敷市芸文館アイシアター

主催：(財)倉敷市文化振興財団、倉敷市、テレビせとうち  
共催：倉敷市教育委員会  
後援：全国音楽ホールネットワーク協議会

プログラムB

10月27日 (金) 19時半開演

佐敷町文化センターシュガーホール  
(宝くじ助成事業/平成7年度シュガーホール自主公演)

主催：佐敷町文化センター自主事業実行委員会  
共催：沖縄タイムス社  
後援：(財)地域創造、全国音楽ホールネットワーク協議会

プログラムB

10月29日 (日) 14時開演  
秋篠音楽堂

主催：近鉄百貨店  
プログラムA

[プログラムA]

ベートーヴェン：ヘンデルの「ユダス・マカベウス」の  
「見よ勇者は帰る」の主題による12の変奏曲ト長調

ベートーヴェン：チェロソナタ(二重奏曲)変ホ長調作品64  
1:アレグロ・コン・プリオ, 2:アンダンテ, 3:メヌエット, 4:アダージョ, 5:メヌ  
エット, 6:フィナーレ

\*

ショパン：夜想曲第2番 変ホ長調 作品9の2

リスト(ブゾーニ編曲)：忘れられたワルツ

グラナドス(カサド編曲)：歌劇「ゴイエスカス」より「間奏曲」

シューベルト(ペレーニ編曲)：楽興の時 作品94の3

ドヴォルザーク：ロンド ト短調 作品94

マルティヌー：ロッシェニの主題による変奏曲(1942)

コダーイ：ハンガリー民謡集より「ロンド」(1942)

[プログラムB]

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第6番 二長調 BWV1012  
前奏曲、アルマンド、クワラント、サラバンド、ガヴオット1・2、ジーク

\*

(以下、プログラムAと同じ)

[プログラムC]

レーガー：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 作品131cの1  
1:前奏曲, 2:アダージョ, 3:フーガ

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第6番 二長調 BWV1012  
前奏曲、アルマンド、クワラント、サラバンド、ガヴオット1・2、ジーク

\*

(以下、プログラムAと同じ)

表紙イラスト：辰巳ヨシヒロ

**旭川市大雪クリスタルホール音楽堂 (北海道旭川市)**

旭川市大雪クリスタルホールは、市民運動により建設が実現した、全国に例を見ない公共ホールで、北海道初の音楽専用ホールとして平成5年9月にオープンいたしました。

以来、会を重ねる毎に評価が高まる素晴らしい音響に加えて、音楽堂内部にふんだんにほどこされた木材がかもし出す、ぬくもりとやさしさ、併せて、管理運営にたずさわるホールのスタッフの真摯で誠実な姿勢——優れたホールに不可欠な要素が揃っているとの評価をいただいております。

“楽器を選ばぬ良いホール”と評されるクリスタルホールですが、弦楽器とは、とりわけ兎事に響き合うようであり、もう一つの評価“実に演奏しやすいステージ”で、マイクロシュ・ペレーニ氏がどんな演奏を旭川市民に聴かせてくださるの、大いに期待しているところであります。

今回は、クリスタルホールを中心に、市民のネットワークづくりを旨とする諸団体から成る実行委員会と、クリスタルホールとが共催の形で、官民一体となって催します。ハードの評価に相応しいソフトづくりの一環になれば幸いです。(マイクロシュ・ペレーニ チェロリ サイトリ実行委員会/村田和子)



**アトリエ音楽ホール (秋田県秋田市)**

秋田アトリエ音楽ホールは、秋田県初のクラシック音楽専用ホールとして89年11月に開館し、貸館や自主企画コンサート等ほぼ100パーセントの利用率で今年6年目を迎えました。ケルン社製のパイプオルガンを備え、天上や壁面に「秋田杉」を張り巡らせ、木の材質を活かした柔らかく明るいホール自体の響きが、多くの方々から好評をいただいております。昨年度は開館5周年を記念し、県内の個人や企業からのメセナで「アトリエ室内オーケストラ」というレジデント・オーケストラを結成、年2回の定期では石丸寛氏や徳永二男氏等に指導共演いただき、順調に軌道に乗ることができました。年間20本以上の自主企画コンサートでは、ソロ、室内楽、フル・オーケストラ等幅広いジャンルの演奏家を招聘し、地域の方々にお喜びいただいております。そのほか県民オルガン奏者養成講座、小中学生対象のピクニックコンサート、風のプロムナードコンサート等もまたご好評をいただいております。(秋田県総合生活文化会館文化企画担当/阿部智博)

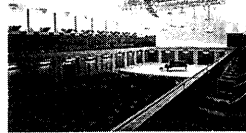


**カザルスホール (東京都千代田区)**

カザルスホールは室内楽専用の511席の小ホールとして1987年にオープンし、今年には60周年を迎えます。プロデュース制の下、最初の数年は試行錯誤の連続でしたが、その間に培ってきたノウハウ(演奏家への接し方やお客様へのサービス、広報宣伝などに支えられた総合的な企画制作力)は、それなりに自負できるようになってきたと思っています。

室内楽のホール同士のネットワークは、オープン以来のテーマの一つとして取り組んできました。それも、単に企画を共同でやるだけでなく、各地の特殊事情を超えて、ホールのノウハウ全般について一緒に悩み、考えていくことだと思っています。制約はありますが、今回のマイクロシュ・ペレーニのコンサートで新しい試みを試み、確かめたいという気持ちもあります。

もちろん、コンサートはそんな事情を超えて、あくまで音楽自体を楽しむものですが、演奏家と音楽に寄せるスタッフの温かい気持ちも同時に感じてくださいれば幸いです。(カザルスホール・チーフプロデューサー/児玉 真)



**富山県高岡文化ホール (富山県高岡市)**

「県民の真中に文化ホールあり」。ここ数年、「ホール」と呼ばれる施設が著しく増加し、各地で多種多様な催し物が開催されております。そのため、確かに地域住民が「文化」に接する機会が増えたと思われれます。しかし、県民からよく耳にする「気楽に足を運べるホール」「憩いの場となるホール」であるかは疑問が残ります。

それは、県民のコミュニケーションを促す場として活用されてきた、文化ホール本来の在り方が、違った価値観の方向に進んできているからだと思われれます。

新しい感動と触れ合いを求めて10年の月日が過ぎようとしている当館は、まさにこれまで蓄積したものを県民に開花させるとともに、謙虚な気持ちで原点からホール運営を問い直す必要があると思われれます。

今回招聘するマイクロシュ・ペレーニ氏の演奏が、クラシック音楽を通して県民の要求している文化ホールに一步でも近づくための潤滑油となり、聴衆に感動のときめきを与えることを期待します。(富山県高岡文化ホール事業担当/笹谷 勇)



**エルデホール (兵庫県神崎郡福崎町)**

福崎町エルデホールは小さなホールです。収納できる移動座席が240席ですが、いろいろな催しが可能なように、平土間を意識して計画されました。演劇・音楽などの展示系から展示系まで、従来の観念の変化に加えて展示インスタレーション・パーティーなどの対応も考えられています。そしてまた当ホール最大の特徴として、舞台後ろの開閉扉を開き、ホールの内部空間をイベント広場と一体的使用できる構造となっており、他に類例を見ない独自の利用法が可能です。

このように特徴と個性をもったホールのため、それぞれの催しについても持ち味を生かした内容を取り組んでいます。今回のリサイタルについても小さな小さなホールであるがゆえの利点と、会場雰囲気も考えて、演奏側も聴く側も親密感のある中で、リラックスした楽しめる音楽会を工夫したいと考えています。

昨年もチェロリサイタルを行いました。出演者や関係の方々との協力によりたいへん有意義な音楽会となりました。今年もスタッフ一同心を込めた音楽会を準備して、多数の参加をお待ちしております。(エルデホール所長/殿本 守)



**倉敷市芸文館アイシアター (岡山県倉敷市)**

私のウィーン在住中より、ペレーニさんの噂はよく聞いていて、「お隣の国ハンガリーにすごいチェリストがいるんだ」と、私の音楽仲間たちがおりにつけ驚いていたのを思い出します。

ブダペストの街(ウィーンから路線バスで約4時間位)へ足を運ぶ都度、フンゴルトン(ハンガリー国営レコード社)の直営店でペレーニさんのCDを探しました。結局、3、4枚程度ですが入手できたことは幸運でした。

その後、とうとうウィーン楽友協会にてライブが聞けました。曲はハイドンのチェロ協奏曲、演奏の三要素(美しい音で歌うこと、音楽的音程への配慮、正確なリズム)はもちろんなこと、楽譜を超えた所にある、ある種の崇高なものをも感じさせられました。

私が常日頃から敬愛してやまぬ、偉大な指揮者のセルゲイライナーを輩出した、音楽大國ハンガリーの今を代表する芸術家の一人を、倉敷市民の方々にご紹介できることは、企画担当者として光栄の一語につきます。(倉敷市文化振興財団音楽企画担当/小林正樹)



**シュガーホール (沖縄県豊後郡佐敷町)**

佐敷町文化センター・シュガーホールは、去年の6月にオープンした沖縄で初の本格的音楽専用ホールです。シュガーホールの「シュガー」は、ご存知のとおり直訳すると「さとう」の意。ホールまわりの砂糖きび畑に囲まれていて「音楽を包み込む美しい自然……」なんて粋なフレーズがうかぶロケーションから生まれたネーミングです。ホールの甘い甘い響りに誘われて、これまで本当に多くの演奏家がホールを訪れ、観客との一体感のもと、たくさんの方々の感動を与えてくださいました。また、演奏会終了後おこなわれる交流会の盛り上がりはまさに「沖縄的」で、演奏家と観客との間に数々のドラマが生まれましたこと有名(?)です。

ここだけの話ですが、実はシュガーホールは弦楽器の創り出す音に快く反応してくれるホールなのです。それで、ホールの担当としては、ぜひ一度はマイクロシュ・ペレーニさんのような一流のチェリストをお招きしたかったわけで、それが実現できて本当に最高です。今夜のコンサートが、ご来場いただいた皆さまにとって、心に残る演奏会となることをスタッフ一同願っております。(シュガーホールスタッフ/宮城光也)



**秋篠音楽堂 (奈良県奈良市)**

プザーが鳴る。突然の信号が背骨を駆け抜けたように、私たちは反射的に立ち上がり窓口へ駆けよる。

「いらっしゃいませ。いつの公演のチケットでしょうか?」お客様はありがたい。オープンして3年、会員制を始めて約2年。やっと「室内楽専用ホール・秋篠音楽堂」が根づいてきたらしい。

客席数は304席のみ。椅子で足を伸ばせる。室内オーケストラが演奏できるほど舞台が広い。木目調で気分も落ち着く。自画自賛ながら贅沢な造りではある。だからお祭りのとおり、採算には苦しむ。さすがに世の中のことづくめの話はない。

採算と集客との板挟みで苦しむ時にふと思ふ。神格化された西洋が消えた。クラシックの儲け打ちも例外ではないのか? しかし手をこまねいている余裕はない。現場は、新鮮な企画を現実にも求められている。

小回りの利くホールの特性を生かして、いろいろな形態のコンサートを今は目指している。ファン層を広げていくのが現場の夢だ。(秋篠音楽堂ディレクター/徳永真士)



# カルミナ・クアルテット 日本ツアー 1996

CARMINA QUARTET JAPAN TOUR 1996

後援: スイス大使館

協力: **swissair**

企画制作: カザルスホール企画室・アヴァタクト

出演: カルミナ・クアルテット CARMINA QUARTET  
 マティアス・エントデルレ (ヴァイオリン) Mathias Enderle (Vn)  
 スザンヌ・フランク (ヴァイオリン) Susanne Frank (Vn)  
 ウェンディ・チャンプニー (ヴィオラ) Wendy Champney (Va)  
 シェテファン・ゲルナー (チェロ) Stephan Goerner (Vc)

ポール・メイユ (クラリネット) Paul Meyer (Cl)  
 (プログラムB & プログラムC)

## A プログラム

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第15番「短調」作品132  
 Beethoven: Streichquartett Nr.15 small op.132  
 I: アヴァタクト・スチースト II: アレグロ・マノン・トロツボ III: モルト・アダージョ IV: 行進曲風に V: アレグロ・アバソジョナート

シューベルト: 弦楽四重奏曲第14番「短調」D.810「死と乙女」  
 Schubert: Streichquartett Nr.14 small D.810 "Der Tod und das Mädchen"  
 I: アレグロ II: アンダンテ・コン・モート / 変奏曲 III: スカラルツネ、アレグロ・モルト IV: プレスト

## B プログラム

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第3番「長調」作品18の3  
 Beethoven: Streichquartett Nr.3 D-Dur op.18 nr.3  
 I: アレグロ II: アンダンテ・コン・モート III: アレグロ IV: プレスト

ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲第12番「長調」作品96「アメリカ」  
 Dvorak: String quartet No.12 in F major op.96 "America"  
 I: アレグロ・マノン・トロツボ II: レント III: モルト・ヴァグアチエ IV: ヴァグアチエ・マノン・トロツボ

ヴェーバー: クラリネット五重奏曲「長調」作品34  
 Weber: Grosses Quintett für Klarinette und Streichquartett B-Dur op.34  
 I: アレグロ II: アダージョ・マノン・トロツボ III: マスエット IV: アレグロ・ジョコローソ

## C プログラム

モーツァルト: セレナーデ第18番「長調」K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」  
 Mozart: Serenata Nr.18 G-Dur K.525 "Eine kleine Nachtmusik"  
 I: アレグロ II: アンダンテ III: マスエット IV: ロント・アレグロ

ラヴェル: 弦楽四重奏曲「長調」  
 Ravel: Quatuor à cordes en fa majeur  
 I: 極めて穏やかに II: 充分生き生きと、極めてリズミクに III: 非常に緩やかに IV: 生き生きと優しく

モーツァルト: クラリネット五重奏曲「長調」K.581  
 Mozart: Quintett für Klarinette und Streichquartett A-Dur K.581  
 I: アレグロ II: ラルゲット III: マスエット IV: 変奏曲

10月9日(木)19時開演  
 新潟・新潟市音楽文化会館ホール  
 主催: 新潟市音楽文化会館  
 C プログラム

10月10日(木)14時開演  
 (日本ホール・ピエゾ (特別出演) 新潟県立音楽院 (開演記念))  
 前橋・前橋テルサ  
 主催: 日本ホール・ピエゾ株式会社  
 後援: (財)前橋労働者総合福祉協会、(財)五右衛門文化振興財団  
 大前町公共労働管理公社、(財)藤名町文化振興事業団  
 (財)新田町文化スポーツ振興事業団  
 協力: カザルスホール、タイセイ、アルテイス音楽工房  
 A プログラム

10月11日(金)19時開演  
 (国際音楽の日記念事業)  
 富士・ロゼンアター 小ホール  
 主催: (財)富士市文化振興財団、静岡県教育委員会  
 後援: K-MIX  
 A プログラム

10月12日(土)19時開演  
 (カザルスホール10周年記念特別演奏会)  
 西武クレシエント・コンサート  
 東京・カザルスホール  
 主催: カザルスホール  
 協賛: 西武信用金庫、けやき通株式会社 (西武信用金庫グループ)  
 後援: カザルスホール倶楽部、主婚の友社  
 A プログラム

10月13日(日)14時開演  
 (カザルスホール10周年記念特別演奏会)  
 西武クレシエント・コンサート  
 東京・カザルスホール  
 主催: カザルスホール  
 協賛: 西武信用金庫、けやき通株式会社 (西武信用金庫グループ)  
 後援: カザルスホール倶楽部、主婚の友社  
 B プログラム

9月25日(木)19時開演  
 京都・京都コンサートホール小ホール (アンサンブルホールムラサキ)  
 主催: (財)京都市音楽芸術振興財団  
 後援: 京都市  
 A プログラム

9月26日(木)19時開演  
 (国際音楽の日記念事業)  
 シューベール・アデーアたんば96  
 丹波の森国際音楽祭 ガストコンサート  
 第4部「4人いっしょにシューベール」  
 福山・たんば田園交響ホール  
 主催: 丹波の森国際音楽祭シューベール・アデーアたんば実行委員会  
 文化庁、福山町  
 A プログラム

9月29日(日)14時開演  
 (大牟田文化芸術祭10周年記念事業)  
 大牟田・大牟田文化会館大ホール  
 主催: (財)大牟田文化協会  
 共催: 大牟田音楽家協会  
 後援: 大牟田市教育委員会  
 C プログラム

10月2日(木)19時開演  
 (平成8年新潟県川市大重ウリスタルホール開館10周年記念事業)  
 旭川・旭川音楽堂 (大重ウリスタルホール)  
 主催: 旭川市大重ウリスタルホール  
 共催: 北海道新聞旭川支社  
 B プログラム

10月5日(土)14時開演  
 奈良・秋篠音楽堂  
 主催: 近鉄百貨店  
 C プログラム

10月6日(日)18時半開演  
 (福岡エルクホール10周年記念)  
 福岡・福岡エルクホール  
 主催: 福岡市、福岡教育委員会  
 企画: 福岡エルクホール企画運営委員会